

アスクル、新物流拠点『ASKUL Logi PARK 福岡』の起工式を実施

～在庫保管能力の増強と省人化を推進する設備導入で、生産性の高い物流施設に～

アスクル株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:岩田彰一郎、<http://www.askul.co.jp/>、以下アスクル)は、競争力のある物流・配送力の実現を目的に、既存の福岡センター(所在地:福岡県糟屋郡粕屋町)の移転拡充を計画していましたが、このたび「ASKUL Logi PARK 福岡」(以下、同施設)の稼働に向け、2014 年 7 月 14 日に起工式を実施しました。

2016 年 1 月に新設予定の同施設は、アスクルが福岡市より取得した福岡市東区(福岡アイランドシティ)の用地に、九州・沖縄エリアをカバーするアスクルの法人向け(BtoB)事業の新たな物流拠点として建設予定です。延床面積は約 54,842 平方メートル(約 15,984 坪)と既存の福岡センターの約 2 倍の広さを誇り、大幅に在庫保管能力が向上します。また予定地である福岡アイランドシティは、博多港、福岡空港、博多駅、福岡インター、JR 貨物など陸海空の交通連結点が半径 10km 以内に集積するなど物流施設として好適な位置に立地しています。なお将来的には、一般消費者向け(BtoC)事業「LOHACO」の物流拠点としても機能拡張する可能性があります。

同施設の新設により、既存の福岡センターほか福岡県内にある複数の物流拠点を機能集約・統合し、より効率的な物流運用を図ります。また、2013 年 7 月に稼働を開始したアスクルの最新物流拠点「ASKUL Logi PARK 首都圏」(所在地:埼玉県入間郡三芳町)での最新鋭設備の導入成果を踏まえ、梱包工程や在庫保管における省人化・自動化をさらに推し進め、より生産性の高い物流施設の実現を目指します。



ASKUL Logi PARK 福岡 外観イメージ



起工式の様子

<ASKUL Logi PARK 福岡の特徴>

- ① 大幅な在庫保管能力と出荷能力の向上
- ② 自動梱包機の導入により、梱包工程のさらなる省人化・自動化の推進
- ③ 自動倉庫の仕組みを活用した、より効率的な在庫保管
- ④ 太陽光発電の設置や倉庫内照明の LED 化など環境に配慮した設備

<ASKUL Logi PARK 福岡の概要>

所在地 : 福岡市東区みなと香椎二丁目 25 番 12

稼働開始 : 2016 年 1 月(予定)

敷地面積 : 約 24,905 平方メートル(約 7,533 坪)

延床面積 : 約 54,842 平方メートル(約 15,984 坪)

建物階数 : 地上 4 階建

総投資概算額 : 約 100 億円(土地、建物、マテハン総計)見込み

交付金 : 約 14 億円(土地・建物・設備の合計)

News Release



※プレスリリースに掲載の情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。